

未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く翁中生！

翁頭中学校だより
11月6日 第12号
文責 校長 山下



御参観ありがとうございました

10月30日(月)、準備を進めていた学習発表会を開催しました。今年は、4年ぶりに全校生徒、保護者、地域の方々を一堂に会して行いました。前半は、総合的な学習の時間の発表でした。1年生は、「ふるさとの良さを知ろう」のテーマで、五島の自然、食、観光地にスポットをあて、一人一人がそれぞれの課題に応じて調べたり体験したりしたことを発表しました。2年生は、約3週間前に行ってきたばかりの修学旅行を通して学んだことの発表でした。特に、水俣病については、五島市のカネミ油症問題もあり、人ごとは思えない内容で、今でも苦しんでいる人がいることを私たちは知っておく必要があると感じました。3年生は、修学旅行で学んだことを劇で表現しました。炎上太鼓のパフォーマンスやVR、幕間のCMの演出など、参観者を飽きさせず、かつ自分たちの思いが伝わるように工夫していました。主体的・協働的に活動するという目的も達成できました。

後半は、各学年の合唱でした。1年生は、15人という最も少ない人数ですが、1年生らしいリズムと合唱で、2年生は、大人数の特徴を生かした堂々とした合唱で、3年生は、細かなところまでよくこだわり、創り上げていることを実感する合唱で、私たちに感動と元気を与えてくれました。

どの学年も、活動を通して、思いやりの心をもち、仲間と助け合いながら、勉学に励むという「未来への誓い」を実践することができました。実行委員長の石橋瑛虎さんをはじめ、実行委員の皆さん、そして学習発表会に関わっていただいた全ての皆さんに感謝するとともに、お忙しい中、御参観いただきました皆様、本当にありがとうございました。



職業講話から

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育を「キャリア教育」と言います。極端に言うところ、学校教育におけるすべての活動がキャリア教育に通じると言えると思います。



その一環として、先月、東京慈恵会医科大学客員教授の天木嘉清先生をお招きし職業講話を行いました。天木先生は、日本でも有名な麻酔科医で、離島医療にも携わっています。講話の中に、「五島の素晴らしさ」「エッセンシャルワーカー(生活を維持するために絶対必要な職業)」というキーワードが何度も出てきて、「地元の人、地元のエッセンシャルワーカーにならないければならない」ことを熱く語られました。本当にその通りだと強く感じました。生徒の感想を紹介します。

- 失敗をしない安全な道に進むのではなく、失敗の中の成功を求めこれからは頑張ります。
- 自分の将来の夢は理学療法士なので、その仕事で地域のみんなを助けようと思えました。
- 都会で働きたいと思っていたけど、もっと周りの人に話を聞いた方が良かったと思いました。
- 「五島を自分たちの手で支えてほしい」という言葉がくっつきました。
- 私は五島に住むことは考えていなかったけど、五島に住んで何かの役に立ちたいと思いました。

11月

- 6日:3年三者面談(～14日)
- 7日:第1回選挙管理委員会
- 8日:生徒会役員選挙告示
部活動:Xデー中止(～15日)
- 9日:立候補受付(～15日)
- 10日:市小中学校音楽発表会
- 12日:県大会
- 13日:人権委員会実行委員会
- 14～15日:期末テスト
- 16日:立候補受付締切
- 17日:第2回選挙管理委員会

各種大会から

10月21・22日(日)には陸上、29日(日)にはソフトテニスの県新人大会、21日土日にはロボコン五島市大会が行われました。主な成績です。



- 〔県中学校陸上競技新人大会〕
- 2年女子100m2位 黒川愛唯
- 1年男子1500m6位 田中千之助
- 〔市ロボコン五島市中学生大会〕
- ロボコン大賞・基礎部門2位
- ロボット名「がんばレベッカ」
- 出口健誠・有川草汰

【翁頭祭の思い出】

21年前、初めて翁頭祭に参加した時の衝撃を今でも忘れない。全学級の合唱とともに、ある生徒の津軽三味線演奏があった。テレビでしか聴いたことがなかったので演奏を楽しみにしていたが、想像を絶する素晴らしい演奏であった。津軽三味線の迫力に圧倒され、感動して鳥肌が立ったのを今でも覚えている。演奏している生徒は、控えて心優しい子であり、それも驚きであった。その生徒は、翌年、津軽三味線日本一になった。